

1

緑溢れる
木の温もりのある
キャンパス

CONCEPT

歴史と伝統に向き合い、
未来につなぐサステナブルキャンパスの実現を目指して、

II

「学生が互いに刺激し合え、
多様性を共感できる心地よいキャンパス」

2

アクティブな学び、
交流の場をもつ
キャンパス

3

広域に立地する
建物間を繋ぎ、
一体感をもつ
キャンパス



※新棟は、2025年秋オープン予定（※3-4階図書館エリアは2026年春予定）
※2022年10月現在の計画で、画像はイメージです。
愛知大学広報課・豊橋総務課制作 2022.10



1

緑溢れる木の温もりのあるキャンパス

高木の木々、哲学の森、そよかぜ広場など調和した
温かみのあるグリーンキャンパス

■豊橋キャンパス施設整備事業 概要

愛知大学は、中国上海でグローバルなビジネススクールとして1901年（明治34年）に開学し、終戦とともに45年間で閉校となった東亜同文書院（のち大学）の後継大学として、1946年、昭和天皇の裁可によって日本で49番目の旧制大学に認可されました。当時、横田忍豊橋市長のリーダーシップのもと、旧陸軍第15師団（1908年設置、のち教導学校、陸軍予備士官学校と変遷）の跡地へ誘致され、豊橋市は軍都から教育都市へと転換が図られました。設立趣意書には、敗戦直後にもかかわらず、「国際的教養と視野をもった人材の養成」「地域社会への貢献」が記されており、旧陸軍第15師団司令部は築百有余年の今も、愛知大学記念館（国の登録有形文化財）として現存しています。

2025年の創立80周年にむけ、2022年から豊橋キャンパスの施設整備事業を展開します。整備計画の大きなコンセプトは、歴史と伝統に向き合い、未来につなぐサステナブルキャンパスの実現を目指し、「学生が互いに刺激し合え、多様性を共感できる心地よいキャンパス」を掲げます。

そして、1908年から脈々と引き継がれる豊橋キャンパスならではの整備事業を実現するために、「緑溢れる木の温もりのあるキャンパス」、「アクティブな学び、交流の場をもつキャンパス」、「広域に立地する建物間を繋ぎ、一体感をもつキャンパス」という3つの具体的なコンセプトのもと、新棟建設および既存建物改修を行います。

新棟は、豊橋キャンパスの中心地に立地し、約12,000㎡の4階建ての建物です。中・大教室、蔵書数100万冊余をブラウジング（閲覧する、目を通す）できる図書館、情報メディアセンター、Language Center、コミュニケーションラウンジ等から構成するアカデミック棟で、他の建物には渡り廊下でアクセスできます。各階の居心地の良い様々な空間において、学生は学生間や、教職員・地域の人々・学外者とのアクティブな学びや交流をとおり、またキャンパス景色を臨みながら自立して学習・研究することにより、豊かなキャンパスライフを満喫できることとしよう。

1階

- そよかぜ広場からピロティへ、そして新棟内へ一体感のあるキャンパス空間を創出
- 中央エリアには200席からなる飲食可能な交流の場「コミュニケーションラウンジ」、ALL-Genderトイレを含む最新の大型トイレ、ギャラリースペースを配置
- 500名を収容できる大教室1つ、中教室3つを配置し、その1つはアクティブに利用できる可動教室にしており、コミュニケーションラウンジ等との連携により多機能利用も可能

2階

- 情報メディア教室と、PC等自由に利用できるスペース、および国際・語学教育に関するスペースを配置
- 共有ルーム、コモンスペース、個室ブースなどアクティブに学べる多様なラーニングcommons空間を創出
- 学生間の交流や、フェスティバル等にステージとして利用できるそよかぜ広場に面した2階テラスを設計

3・4階

- 愛知大学が誇る蔵書のうち100万冊をブラウジングにて閲覧できる3・4階の図書館
- アカデミックな3階は集中して学べる場を、4階は多様でユニークな学べる場を提供
- グラウンドや自然豊かなキャンパス空間をのぞめる学習スペースを東西南北に配置



新棟 (2025年秋オープン予定)



※画像はイメージです。

豊橋キャンパス

地域政策学部		文学部			
地域政策学科		人文社会科学科	歴史地理学科	日本語日文学科	心理学科
公共政策コース	経済産業コース	現代文化コース	社会学コース	欧米言語文化コース	日本史学専攻
まちづくり文化コース	健康・スポーツコース	東アジア文化専攻	社会学専攻	現代国際英語専攻	世界史学専攻
食農環境コース		哲学専攻	社会学専攻	ドイツ語圏文化専攻	地理学専攻
		図書館情報学専攻		フランス語圏文化専攻	
		メディア芸術専攻			
短期大学部	ライフデザイン総合学科	大学院	文学研究科		

3

広域に立地する建物間を繋ぎ、一体感をもつキャンパス

中心地に立地する新棟から既存建物へ、
雨に濡れない連絡通路によりアクセスがしやすいキャンパス



CAMPUS MAP



人工芝グラウンド (2022.9竣工)

ランドスケープ工事 (2023.9竣工予定)



豊橋市中心市街地
活性化区域
～まちづくりに学生の力を～
豊橋中心部には、「穂の国とよはし芸術劇場PLAT」など人々の集う公共施設が次々に開館。各拠点を結ぶ通りの整備と併せ、まちの魅力を高めています。まちづくりに行政と学生との連携も期待されています。

豊橋キャンパス
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑1-1 TEL:0532-47-4111(代表)

■アクセス
【鉄道】豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅隣接(「新豊橋」駅より乗車時間6分)

■豊橋駅へのアクセス
浜松 ~ 豊橋 35分 名古屋 ~ 豊橋 51分
静岡 ~ 豊橋 43分(新幹線利用*) 岐阜 ~ 豊橋 80分

*静岡市内在住の30歳未満の学生は、静岡市が行う新幹線通学費貸与事業の対象となります。



愛知大学記念館 (文化庁登録有形文化財)



そよかぜ広場

名古屋キャンパス

〒453-8777 名古屋市中村区平池四丁目60-6 TEL 052-564-6111(代表)



車道キャンパス

〒461-8641 名古屋市中区筒井二丁目10-31 TEL 052-937-8111(代表)



名古屋キャンパス

法学部	法学科
経済学部	経済学科
経営学部	経営学科
	会計ファイナンス学科
現代中国学部	現代中国学科
国際コミュニケーション学部	英語学科
	国際教養学科
大学院	法学研究科
	経済学研究科
	経営学研究科
	中国研究科
	国際コミュニケーション研究科
車道キャンパス	法科大学院
	法務研究科